

平成28年3月28日
於：庁議室

第2回世田谷区外部評価委員会

議 題

1．新たな評価軸の検討について

2．その他

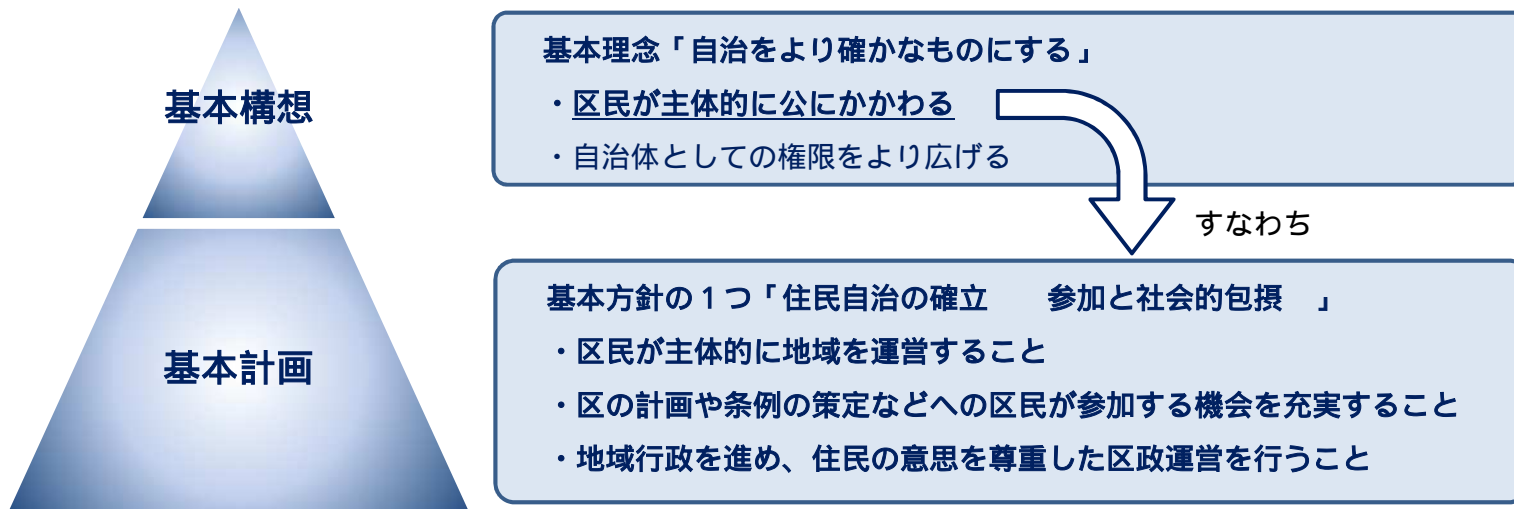
【資料】

- 資料1 外部評価委員会の目的・役割
- 資料2 新たな評価軸 評価シート
- 資料3 評価シート作成のためのチェックシート
- 資料4 基本計画重点政策抜粋（若者）
- 資料5 平成28年度スケジュール（予定）

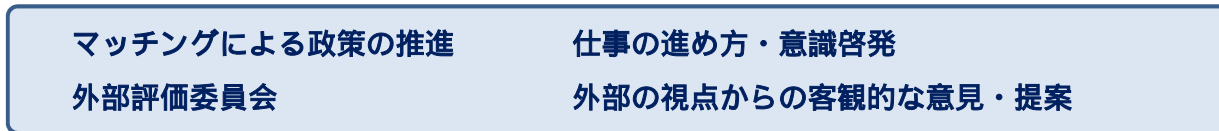
外部評価委員会の目的・役割

1 背景、課題認識

基本構想が示す九つのビジョンの実現に向けた、基本計画「子どもが輝く 参加と協働のまち せたがや」の実現
生活する区民が大切にすべきこと(基本構想)、 仕事の進め方としてこれから職員が大切にすべきこと(基本構想・基本計画)

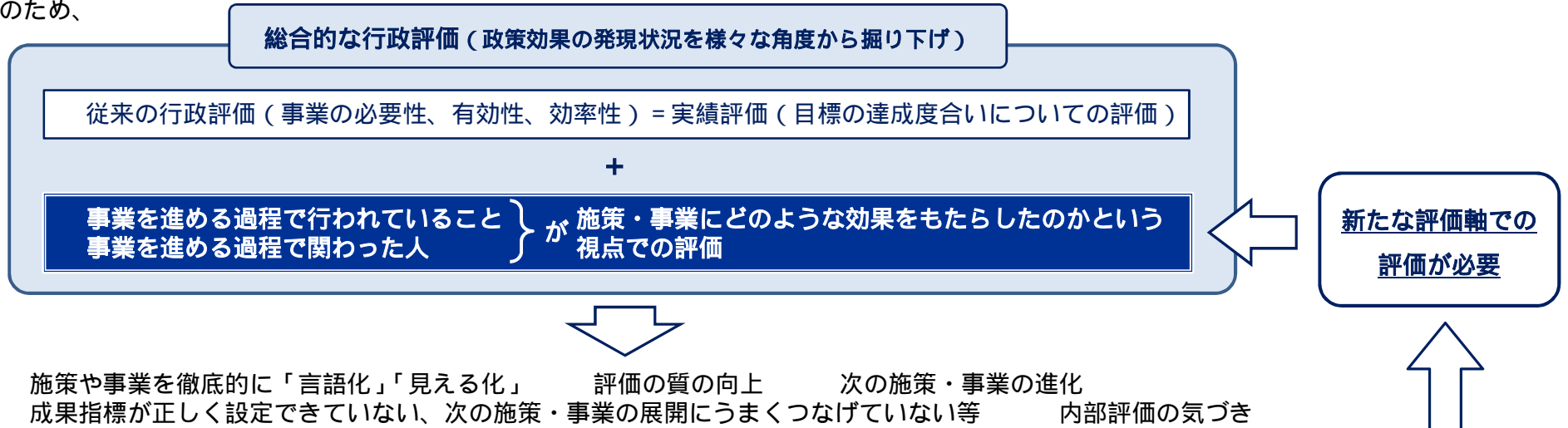


この考えに基づき、区政の各分野で区の組織・職員が業務を進め、区民と共にまちづくりを進めていく
具体的に進めていくためには
各所管がケースごとに対応するだけでなく、もっと広い視点で、組織一丸となって進めていくための仕掛け・仕組みが必要



しかし、従前行ってきた行政評価(内部評価 事業の必要性・有効性・効率性の観点からの評価)では、区民参加、区民と共にまちづくりを進めていくことに対する評価(区民参加がどれくらいできているのか、どういう効果があるのか等)を行っていない。見える化できていない

そのため、

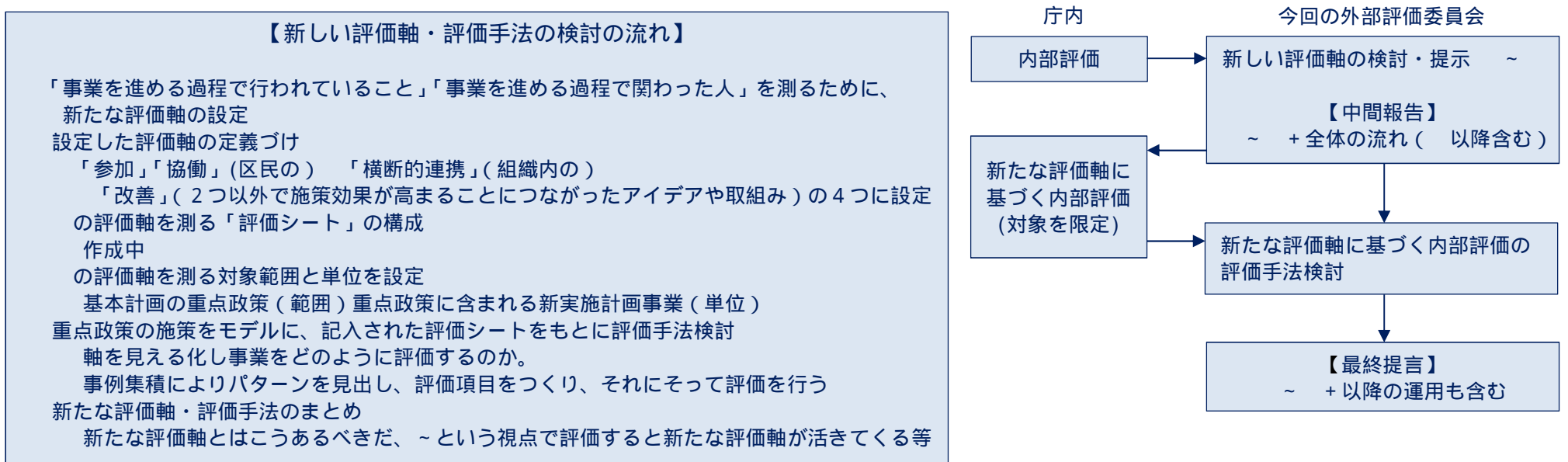


2 外部評価委員会の目的と検討の流れ

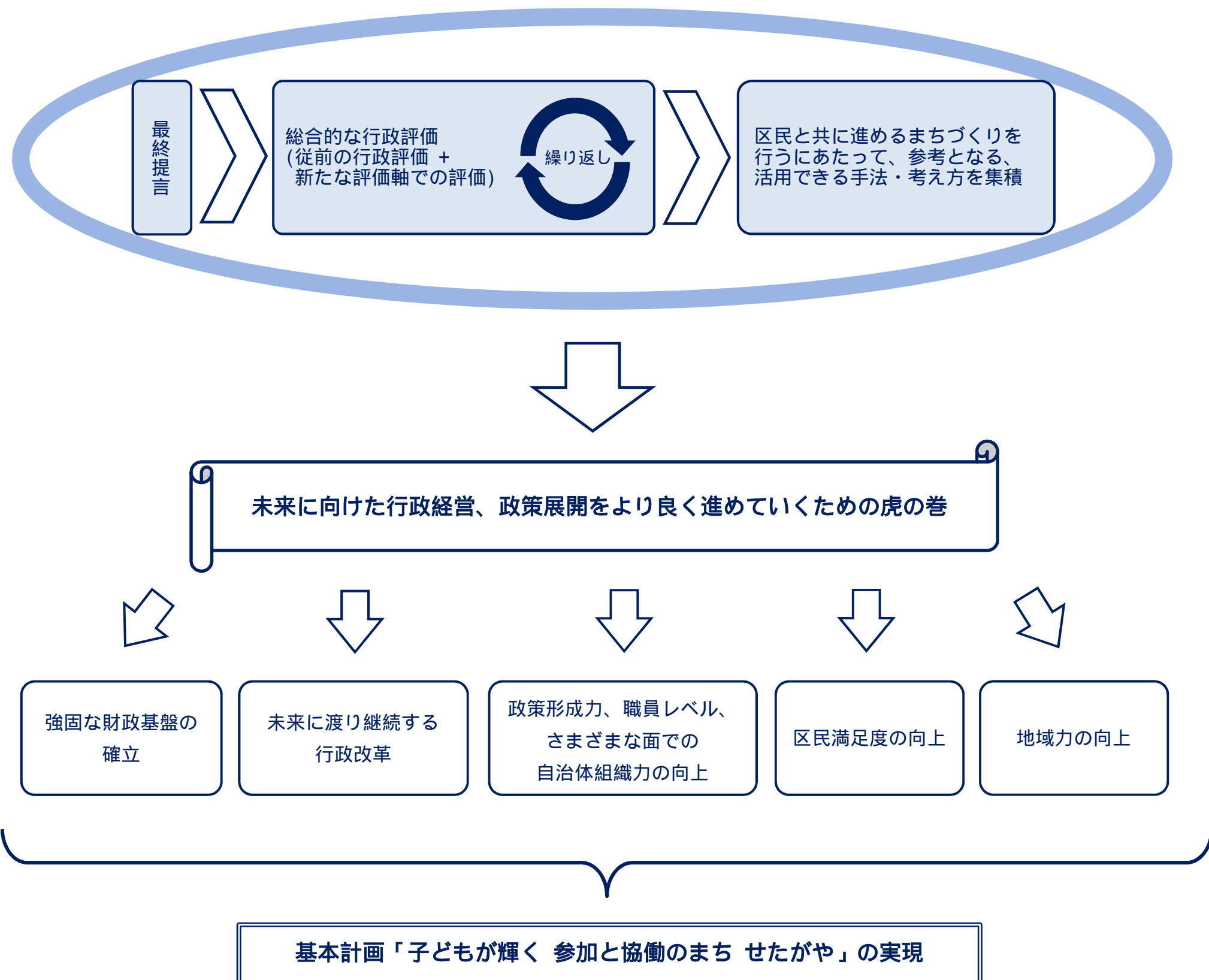
外部評価委員会の目的：新たな評価軸での評価が適切に行えるよう、新たな評価手法の検討

外部(学識経験者、区民、団体、NPO等)の客観的な意見・提案を取り入れ、行政評価の改善・改革を図る。
実効性のあるPDCAサイクルの確立

【参考】区がこれまで行ってきた外部評価(一般的な外部評価)
行政の内部評価(1次評価)に対してさらに評価を行う(2次評価) 特定課題をテーマとして取り上げ、行政の主要な事業を外部の視点で評価・点検



3 外部評価委員会提言後、区の実施の方向性



3つの新たな評価軸に係る評価 重点政策における施策評価 施策別評価シート

評価体系情報

重点政策名	1 子ども若者が住みたいまちづくり、教育の推進		
施策の目標と取組み(A)	若者が力を発揮する環境づくり		
施策名(B) (新実施計画事業名)	0501 若者の交流と活動の推進 (0502 若者の社会的自立の促進 0503 生きづらさを抱えた若者の支援)		
主管部	子ども・若者部	主管課	若者支援担当課

評価シート

1 (A)について(施策の目的と内容)

(1)重点政策に位置づけた(A)を実施することにより、どのような課題の解決を目指しているのか

(A)で解決を目指す課題について、該当する基本計画「重点政策」の「現状と課題」をもとに記載(例:基本計画P40、重点政策1「現状と課題」 から、「子ども、若者が地域と関わる機会や活躍の場が不足している」を課題として記載)

(2)(A)を構成する(B)の取組みの全体像を教えてください

施策評価「事業内容」欄より転記

2 (B)で実施した主な事業の内容と、その事業を行ううえで効果のあった、助けになった、人・物・取組み等について伺います(成功要因)
取り組んだ事項に対し記載欄が足りない場合は適宜行を追加してください

(1)(B)で実施した主な事業の内容を時系列で順番に記載してください	(2)左記(1)の主な事業を行ううえで、効果のあった、助けになった、人・物・取組み等(成功要因)があれば、時系列で順番に記載してください(C)	成功要因の分類(各区分の概要は別紙参照)																
(B)を検討する、計画する段階																		
<table border="1"> <tr> <td>実施時期(いつ)</td> <td>年 月 ~ 年 月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施策(B)の実施内容の検討、策定</td> </tr> </table>	実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月	施策(B)の実施内容の検討、策定		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">効果のあった、助けになった、人・物・取組み等</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	効果のあった、助けになった、人・物・取組み等		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td>以下から選んでください</td> </tr> <tr> <td>「その他」(下欄に具体的に記入)</td> </tr> </table>	以下から選んでください	「その他」(下欄に具体的に記入)				
実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月																	
施策(B)の実施内容の検討、策定																		
効果のあった、助けになった、人・物・取組み等																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
以下から選んでください																		
「その他」(下欄に具体的に記入)																		
(B)を実施する段階																		
<table border="1"> <tr> <td>実施時期(いつ)</td> <td>年 月 ~ 年 月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施した主な事業の内容</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月	実施した主な事業の内容		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">効果のあった、助けになった、人・物・取組み等</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	効果のあった、助けになった、人・物・取組み等		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td>以下から選んでください</td> </tr> <tr> <td>「参加」と「協働」</td> </tr> </table>	以下から選んでください	「参加」と「協働」
実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月																	
実施した主な事業の内容																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
効果のあった、助けになった、人・物・取組み等																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
以下から選んでください																		
「参加」と「協働」																		
<table border="1"> <tr> <td>実施時期(いつ)</td> <td>年 月 ~ 年 月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施した主な事業の内容</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月	実施した主な事業の内容		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">効果のあった、助けになった、人・物・取組み等</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	効果のあった、助けになった、人・物・取組み等		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td>以下から選んでください</td> </tr> <tr> <td>「横断的連携」</td> </tr> </table>	以下から選んでください	「横断的連携」
実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月																	
実施した主な事業の内容																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
効果のあった、助けになった、人・物・取組み等																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
以下から選んでください																		
「横断的連携」																		
<table border="1"> <tr> <td>実施時期(いつ)</td> <td>年 月 ~ 年 月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施した主な事業の内容</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月	実施した主な事業の内容		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">効果のあった、助けになった、人・物・取組み等</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	効果のあった、助けになった、人・物・取組み等		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td>以下から選んでください</td> </tr> <tr> <td>「改善」</td> </tr> </table>	以下から選んでください	「改善」
実施時期(いつ)	年 月 ~ 年 月																	
実施した主な事業の内容																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
効果のあった、助けになった、人・物・取組み等																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
以下から選んでください																		
「改善」																		
時系列(検討・計画段階、実施段階)ではなく、施策全体として																		
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">実施した主な事業の内容</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	実施した主な事業の内容		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">効果のあった、助けになった、人・物・取組み等</td> </tr> <tr> <td>対象(誰と、誰に、何に など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施内容(何をしましたか)</td> <td></td> </tr> </table>	効果のあった、助けになった、人・物・取組み等		対象(誰と、誰に、何に など)		実施内容(何をしましたか)		<table border="1"> <tr> <td>以下から選んでください</td> </tr> <tr> <td>「改善」</td> </tr> </table>	以下から選んでください	「改善」		
実施した主な事業の内容																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
効果のあった、助けになった、人・物・取組み等																		
対象(誰と、誰に、何に など)																		
実施内容(何をしましたか)																		
以下から選んでください																		
「改善」																		

3 (C)により、どのような効果が得られましたか。

1(1)に記載した課題はどの程度解決しましたか。以下の欄に具体的に記載してください。

(2)上記の効果を数値で(定量的に)表現できれば、以下の欄に記載してください((C)があったことで効果がアップした、時間が短縮した等)
効果の一部を表すものでかまいません

効果内容(指標)		効果の推移				
指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度

4 引き続き解決すべき課題と(C)以外で今後取り組みたい内容があれば、以下の欄に具体的に記載してください

新たな評価軸評価シート作成のためのチェックシート

3つの新たな評価軸(「参加」と「協働」、「横断的連携」、「改善」)の定義

「参加」と「協働」

区民等に「参加」の機会を提供し、その意見を計画に反映するとともに、区民・団体・NPO・事業者等との連携によりそのアイデアや能力、意欲を活かして具体的な施策・事業を実施する「協働」により、施策の目標実現に向けて効果的に施策を展開する取組みに関する評価

「横断的連携」

施策の計画策定、実施の各段階において、担当課だけでなく関連する分野の所管課と組織内横断的な連携を図り、それぞれの専門性、能力を有効に活用し、施策の目標実現に向けて効果的な施策を展開する取組みに関する評価

「改善」

施策の取組み以外に、その後の検討により新たに取り組んだことに関する評価

評価体系情報

重点政策名	1 子ども若者が住みたいまちづくり、教育の推進		
施策の目標と取組み(A)	若者が力を発揮する環境づくり		
施策名(B) (新実施計画)	0501 若者の交流と活動の推進 (0502 若者の社会的自立の促進	0503 生きづらさを抱えた若者の支援)	
主管部	子ども・若者部	主管課	若者支援担当課

評価シート

1 (A)について(施策の目的と内容)

(1)重点政策に位置づけた(A)を実施することにより、どのような課題の解決を目指しているのか

(A)で解決を目指す課題について、該当する基本計画「重点政策」の「現状と課題」をもとに記入(例:基本計画P40、重点政策1「現状と課題」から、「子ども、若者が地域と関わる機会や活躍の場が不足している」を課題として記入)

(2)(A)を構成する(B)の取組みの全体像を教えてください

施策評価「事業内容」欄より転記

(3)(A)を構成する(B)の取組みの目標と実績(平成26年度)を教えてください

施策評価「年度別目標と実績」欄より評価年度の目標と実績、目標達成度を転記

成果指標	単位	目標	実績	達成度

2 (B)の検討・計画段階における取組み						
(1)「参加」と「協働」に係る取組み						
(B)の検討・計画時において、区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」を検討、計画されましたか						
実績の有無(該当に)	検討に着手		方針を策定		具体的な計画を策定	
(B)の検討・計画策時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」の実績はありますか。また、実績がある場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの実績(アウトプット))						
実績の有無(該当に)	実施した		実施していない			
1)施策・事業の対象者の参加(施策・事業の内容、方法等に関するニーズ・要望等の把握)						
参加・協働した主体						
参加・協働の方法						
区民アンケート	<input type="checkbox"/>	区民説明会・タウンミーティング			<input type="checkbox"/>	
区民モニター	<input type="checkbox"/>	区民参加会議・ワークショップ等(無作為抽出)			<input type="checkbox"/>	
区民意見提出手続き(パブリックコメント)	<input type="checkbox"/>	区民参加会議・ワークショップ等(任意参加)			<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	具体的に				
2)連携・協力が期待される主体の参加・協働(施策・事業の適切な内容、情報に関する意見・提案の聴取)						
参加・協働した主体						
参加・協働の方法						
審議会等への参加	<input type="checkbox"/>	区民参加会議・ワークショップ等(任意参加)			<input type="checkbox"/>	
提案発表会等	<input type="checkbox"/>	団体・NPO等からの提案による事業計画の採択			<input type="checkbox"/>	
団体・NPO等との協働による事業計画の策定	<input type="checkbox"/>	団体・NPO等が実施している事業の区の事業への採択			<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	具体的に				
3)連携・協力が期待される主体の参加・協働(具体的な連携・協力に関する体制構築)						
参加・協働した主体						
参加・協働の方法						
ボランティア、団体・NPO等の登録制度	<input type="checkbox"/>	協働事業に関する団体・NPO等との協定の締結			<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>	具体的に				
4)その他の参加・協働						
参加・協働した主体						
参加・協働の内容(具体的な実施内容を以下に記入)						
5)参加・協働の規模(実施した主要なものについて妥当と考えられる実績数値を指標として設定し記入)						
実績内容(指標)		実績の推移				
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
(B)の検討・計画時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」による効果はありましたか。また、効果があった場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの効果(アウトカム))						
効果の有無(該当に)	効果があった		効果がなかった			
効果の内容(計画がどのような面で向上、充実したか、どの手法が効果があったのか等)						

(B)の検討・計画時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」により新たに生じた課題はありましたか。また、課題が生じた場合には、その具体的な内容について教えてください。					
課題の有無(該当に)	課題があった		課題が無かった		
(B)の検討・計画時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」に関し、今後新たに取り組みたいと考えている事項はありますか。また、新たに取り組みたいと考えている事項がある場合には、その具体的な内容について教えてください。					
有無(該当に)	ある		ない		
(2)「横断的連携」に係る取組み					
(B)の検討・計画時において、組織横断的な連携や相互補完による効果的な施策・事業展開の可能性について検討、計画しましたか。					
実績の有無(該当に)	検討に着手		方針を策定		具体的な計画を策定
(B)の検討・計画時における組織横断的な連携の実績はありますか。また、実績がある場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの実績(アウトプット))					
実績の有無(該当に)	実施した		実施していない		
連携した所管課					
他所管職員(個人)		<input type="checkbox"/>	他所管係・課(組織)		<input type="checkbox"/>
その他					
連携の狙い					
分野横断的な視点にたった課題・可能性の検討		<input type="checkbox"/>	過去実施した類似・関連事業の参考情報の活用		<input type="checkbox"/>
関連事業の内容の調整(重複部分の整理、相乗効果が期待できる取組みの追加など)					
その他の狙い		<input type="checkbox"/>	具体的に		
連携の方法					
資料・情報の提供		<input type="checkbox"/>	会議等検討作業への参加・協力		<input type="checkbox"/>
その他の方法		<input type="checkbox"/>	具体的に		
連携の具体的な内容					
(B)の検討・計画時における組織横断的な連携による効果はありましたか。また、効果があった場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの効果(アウトカム))					
効果の有無(該当に)	効果があった		効果が無かった		
効果の内容(計画がどのような面で向上、充実したか、どの手法が効果があったのか等)					
(B)の検討・計画時における組織横断的な連携により新たに生じた課題はありましたか。また、課題が生じた場合には、その具体的な内容について教えてください。					
課題の有無(該当に)	課題があった		課題が無かった		
(B)の検討・計画時における組織横断的な連携に関し、今後新たに取り組みたいと考えている事項はありますか。また、新たに取り組みたいと考えている事項がある場合には、その具体的な内容について教えてください。					
有無(該当に)	ある		ない		

3 (B)の実施段階における取組み						
(1)(B)の実施内容と実績(平成26年度)						
実績(平成26年度)						
施策評価「年次別計画・実績」欄より転記						
具体的な実施内容	単位	目標値	実績量	目標達成率		
コスト情報(平成26年度)						
施策評価「コスト情報」欄より転記						
	予算現額	決算額	執行率			
歳出予算・決算						
歳入予算・決算						
人件費						
歳出決算額 + 人件費						
「参加と協働」、「横断的連携」、「改善」等による効果						
1)本シート1(1)に記入した課題はどの程度解決しましたか。以下の欄に具体的に記入してください。						
2)上記の効果を数値で(定量的に)表現できれば、以下の欄に記入してください						
効果内容(指標)	効果の推移					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
課題及び今後の進め方						
施策評価「課題及び今後の進め方」欄の記載内容及び3(2)~(4)の評価結果を踏まえて記入						
(2)「参加」と「協働」に係る取組み						
(B)の実施時において、区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」を検討、計画しましたか。						
実績の有無(該当に)	検討に着手		方針を策定		具体的な計画を策定	
(B)の実施時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」の実績はありますか。また、実績がある場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの実績(アウトプット))(重点政策において「区民の参加・協働とともに進める政策」に記載している項目に関する実績の有無に留意)						
実績の有無(該当に)	実施した		実施していない			
1)施策・事業の対象者の参加・協働(施策・事業による取組みへの参加)						
参加・協働した主体						
参加・協働の内容(具体的な実施内容を以下に記入)						
2)連携・協力が期待される主体の参加・協働(施策・事業による取組みの担い手としての連携・協力)						
参加・協働した主体						
参加・協働の内容(具体的な実施内容を以下に記入)						

3)その他の参加・協働						
参加・協働した主体						
参加・協働の内容（具体的な実施内容を以下に記入）						
4)参加・協働の規模(実施した主要なものについて妥当と考えられる実績数値を指標として設定し記入)						
実績内容(指標)		実績の推移				
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
(B)の実施時において、区だけで実施した場合と比較した場合に、区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」を実施したことによって得られた効果(成果の質の向上)はありましたか。また、効果があった場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの効果(アウトカム))						
効果の有無(該当に)		効果があった		効果が無かった		
施策の実績や成果の向上に関する効果の内容 ・どのような実績・成果がどのような面で向上・充実したか ・どの手法が効果があったのか						
参加・協働による施策の実績指標、成果指標の向上 区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」により、3(1) に記載した施策の実績の指標値や、3(2) に記載した施策の成果の指標値が向上した場合、その増加分を指標値として記入。						
効果内容(指標)		効果の推移				
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					

<p>施策実施の効率性に関する変化の内容 区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」により、施策実施に關与する職員数、職員の従事時間数、事業費がどのように変化したのか</p>						
<p>施策実施の効率性に関する変化の規模 施策実施に關与する職員数、職員の従事時間数、参加・協働の取組みによる事業費の増減量 (注:実績総量ではなく参加・協働の取組みにより変化した量を部分的・定量的に把握可能な場合は記入)</p>						
変化内容(指標)	変化の推移					
施策実施に關与する職員数の増減(人)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
施策実施に要する職員の延べ従事時間数の増減(人日)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
施策実施に係る事業費総額の増減(千円)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
<p>施策の実績・成果の向上効果と効率性の変化を踏まえた取組みの効果の評価 施策の実績・成果の向上効果の大きさと、効率性の変化(職員負担や事業費の増減)の両側面からみて、参加・協働の取組みの効果をどのように評価しているかを記入。</p>						
<p>(B)の実施時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」により新たに生じた課題はありましたか。また、課題が生じた場合には、その具体的な内容について教えてください。</p>						
課題の有無(該当に)	課題があった		課題が無かった			
<p>施策の実施時における区民等の「参加」や、団体・NPO等との「協働」に関し、今後新たに取り組みたいと考えていることはございますか。また、新たに取り組みたいと考えていることがある場合には、その具体的な内容について教えてください。</p>						
有無(該当に)	ある		ない			

(3)「横断的連携」に係る取組み						
(B)の実施時において、組織横断的な連携を検討、計画されましたか。						
実績の有無(該当に)	検討に着手		方針を策定		具体的な計画を策定	
(B)の実施時における組織横断的な連携の実績はありますか。また、実績がある場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの実績(アウトプット))						
実績の有無(該当に)	実施した		実施していない			
連携した所管課						
連携の狙い(例:施策・事業の有効性・効率性の向上、弊害の抑制、等)						
連携の概要						
横断的連携の具体的な内容と役割分担						
・重点政策において「各分野で連携し進める取組み」に記載している項目のうち(B)に関連すること						
項目名	具体的内容・主管課と連携先部署のそれぞれの役割					
・重点政策の「各分野で連携し進める取組み」に記載している項目以外に取り組んだこと (具体的な実施内容を以下に記載)						
(B)の実施時において、所管課だけで実施した場合と比較した場合に、組織横断的な連携をしたことによって得られた効果(成果の質の向上)はありましたか。また、効果があった場合には、その具体的な内容について教えてください。(取組みの効果(アウトカム))						
効果の有無(該当に)	効果があった		効果が無かった			
施策の実績や成果の向上に関する効果の内容 ・どのような実績・成果がどのような面で向上・充実したか ・どの手法が効果があったのか						
横断的連携による施策の実績指標、成果指標の向上 組織横断的連携により、3(1) に記載した施策の実績の指標値や、3(2) に記載した施策の成果の指標値が向上した場合、その増加分を指標値として記入。						
効果内容(指標)	効果の推移					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					

<p>施策実施の効率性に関する変化の内容 組織横断的連携により、施策実施に關与する職員数、職員の従事時間数、事業費がどのように変化したのか</p>						
<p>施策実施の効率性に関する変化の規模 施策実施に關与する職員数、職員の従事時間数、「横断的連携」の取組みによる事業費の増減量 (注:実績総量ではなく「横断的連携」の取組みにより変化した量を部分的・定量的に把握可能な場合は記入)</p>						
変化内容(指標)	変化の推移					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	実績					
<p>施策の実績・成果の向上効果と効率性の変化を踏まえた取組みの効果の評価 施策の実績・成果の向上効果の大きさと、効率性の変化(職員負担や事業費の増減)の両側面からみて、「横断的連携」の取組みの効果をどのように評価しているかを記入。</p>						
<p>(B)の実施時における組織横断的な連携により新たに生じた課題はありましたか。また、課題が生じた場合には、その具体的な内容について教えてください。</p>						
課題の有無(該当に)	課題があった		課題が無かった			
<p>(B)の実施時における組織横断的な連携に関し、今後新たに取り組みたいと考えていることはありますか。また、新たに取り組みたいと考えていることがある場合には、その具体的な内容について教えてください。</p>						
有無(該当に)	ある		ない			

(4)「改善」に係る取組み

当初に計画した(B)の取組み以外に実施したことはありますか。以下の例を参考にその具体的な内容について教えてください。

〔当初に計画した(B)の取組み以外に実施したことの例〕(具体的な内容を以下に記入)

* (B)で実施した取組みの有効性・効率性を高めるもの

例: (B)の取組みの実施円滑化や効果拡大に有効な側面的支援(アシスト)に関すること

* (B)で予定していた取組みの充実・見直しを図るもの

例: ・新たにニーズや必要性の高まりに対応して実施したこと

・(B)の取組みを改善、拡充して実施したこと

* その他、(B)の取組み以外に取り組んだもの

取り組めた
こと、その理
由

取り組めな
かったこと、
その理由

今後取り組
みたいこと

1 子ども若者が住みたいまちづくり、教育の推進

子育て応援都市をめざします

平成21年(2009年)から平成25年(2013年)にかけて、5歳以下の未就学児童が毎年約1,000人増加する傾向が続いています。これは、全国でも稀なことです。その反面、保育サービス待機児童の増加は深刻で、平成30年(2018年)4月までに保育定員を約2万人にする目標に向けて整備を進めています。

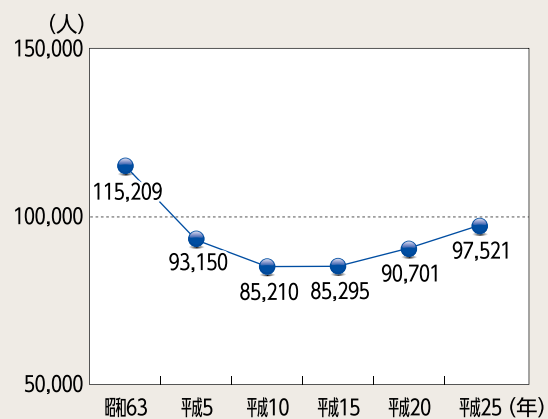
区では、全国に先がけて妊娠から出産、乳幼児からの育児支援をきめ細かく進めています(産後ケアセンター、さんさんサポート、おでかけひろば等)。

さらに、在宅子育てに力を入れ、子育て家庭を応援していきます。地域に根ざした質の高い教育環境を充実するとともに、子どもたちが自ら主役として、豊かに個性や能力を発揮できる場や機会を提供します。中高生世代の活動の場をひろくと共に、若者へと切れ目のない支援のしくみをつくります。

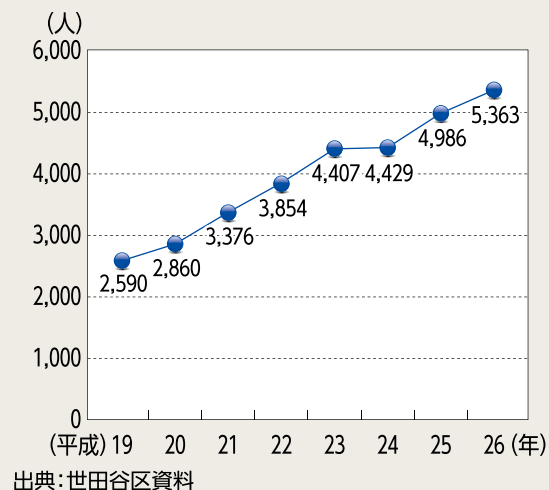
【現状と課題】

- ①経済、雇用環境の変化から近年、保育サービスへのニーズが増大し、在宅子育て支援も含めて孤立しがちな子育て家庭を支える基盤を強くすることが求められています。
- ②質の高い義務教育だけでなく、配慮を要する児童、生徒への教育的ニーズの高まりや、虐待、いじめの増加など、子どもたちをとりまく環境の変化に対応した教育環境が求められています。また、声をあげにくい子どもの声を聞くしくみなど、支援を必要とする子どもへのサポートの充実が求められています。
- ③子ども・若者の居場所や地域と関わる機会が十分でなく、活躍の場が限られています。また、社会性やコミュニケーション等の問題が原因で就労や自立につながらないなど、さまざまな理由から生きづらさを抱えた若者が増えています。
- ④都市化の進展の中で子どもたちが自由に外遊びをするスペースは減少し、「子どもの声」が近隣問題になるなど、子どもを支える地域コミュニティの再生も課題です。

■世田谷区の年少人口(0~14歳)の推移



■認可保育園入園申込者数の推移(各年4月入園選考)





中学生と乳幼児とのふれあい体験

【施策の目標と取組み】

①子育て環境基盤の整備（指標：子育てしやすい環境意識）

潜在的な需要も含め、多様化する保育ニーズに的確に対応するため、保育サービスの量的な拡充や、質の維持向上を実現し、保育サービス待機児解消に努めるとともに、幼児教育の充実を図ります。また、地域の子育て家庭の孤立を防ぐため、在宅での子育てを支援し、子育てひろばやおでかけひろばなど、親子が交流し、学びあう場を充実します。さらに、障害のある子どもや、ひとり親家庭、経済的困窮の影響を受けている子どもなど、支援が必要な家庭の子どもの育ちを支えていきます。

②教育環境と支援体制の充実（指標：教育相談の件数）

世田谷らしい豊かな教育基盤を活かして、「世田谷9年教育」の推進などを通し、子どもの一人ひとりの個性・能力を伸ばし、学校・家庭・地域が連携・協働して育みます。小中学校における特別支援教育にかかわる体制強化を進めるとともに、いじめ防止対策推進法も踏まえ、教育相談機能・不登校対策のさらなる充実を図ります。また、複雑化・多様化する子どもたちの声を聞くしくみづくりも充実していきます。

③若者が力を発揮する環境づくり（指標：若者就労率や社会とのかかわり、サポートセンター就業率）

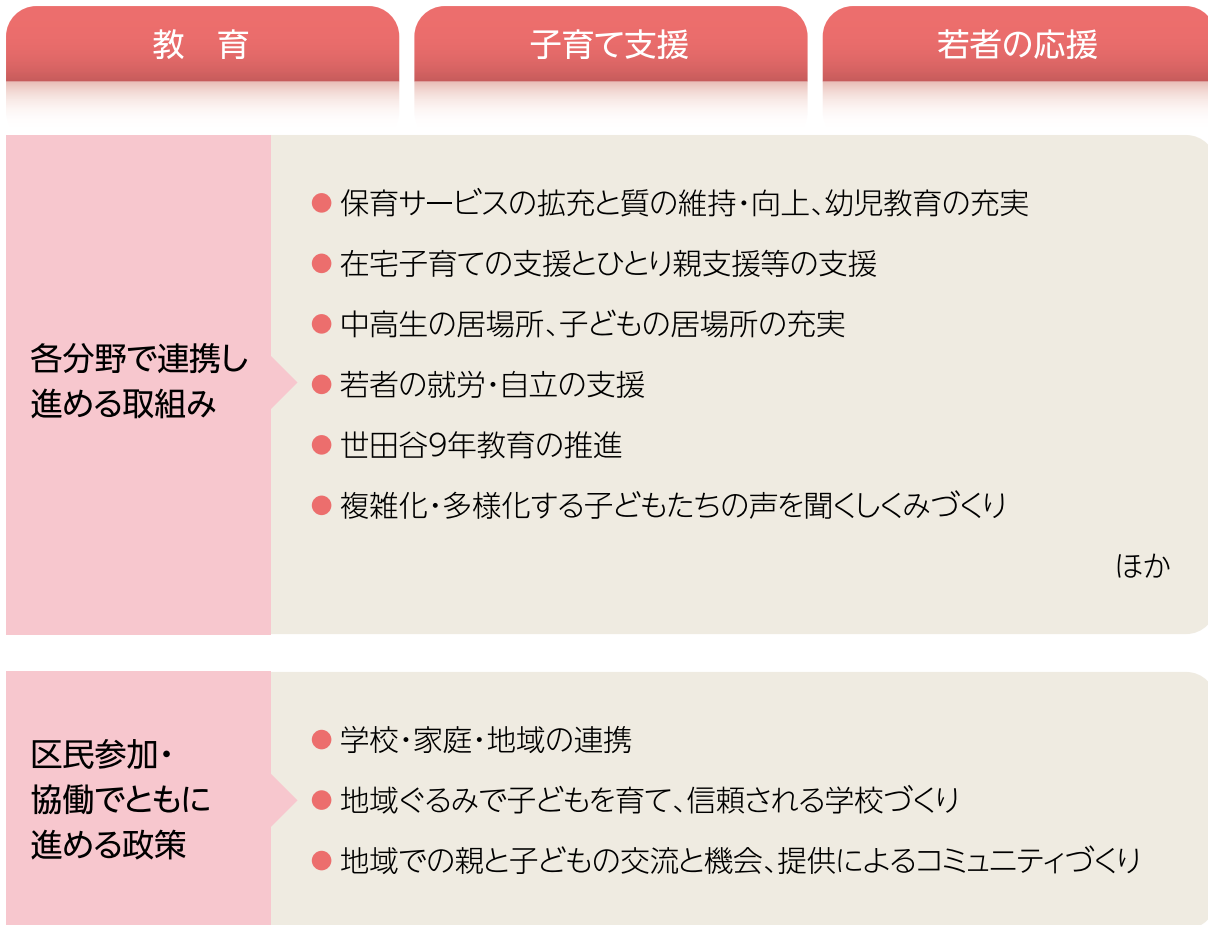
支援の必要な子ども・若者を支えるための生活面や就職などの相談・支援機関、就労や自立支援団体などのネットワークの充実を図り、地域社会との信頼関係の構築や社会生活への移行をめざします。また、児童館や社会教育施設等、若者や青少年活動の場のさらなる活用を通じて、参加・参画と地域での主体的な活動を通して、担い手としての若者を支援します。

④子どもにやさしいまちづくり（指標：子育てしやすい環境意識）

地域と連携し、地域ぐるみで子どもを育て、教育していけるよう、地域における子ども・子育て支援活動や信頼される学校づくりを進めます。

3 重点政策

【推進のイメージ】



【関連施策】

分野別政策	新実施計画事業
子ども若者・教育	若者の交流と活動の推進、家庭・地域における子育て支援の推進、保育・幼児教育の充実、知育・徳育・体育の充実、特別支援教育の充実、支援を必要とする子どもと家庭のサポート、教育相談・不登校対策の充実

【基本構想】





世田谷区外部評価委員会 平成28年度スケジュール(予定)

回	開催日	審議項目
3	平成28年5月下旬	1 新たな評価軸の検討
4	平成28年6月下旬	1 新たな評価軸の検討 2 区民参加の取組み(ワークショップ等)検討
	平成28年10月下旬	(小委員会) 1 重点政策の施策をモデルに、新たな評価軸に基づく内部評価の評価手法検討
	平成28年12月中旬	(小委員会) 1 重点政策の施策をモデルに、新たな評価軸に基づく内部評価の評価手法検討
5	平成29年1月下旬～2月上旬	1 新たな評価軸のまとめ 2 提言方向性
6	平成29年3月下旬	1 提言

平成28年7月下旬～8月上旬 区民参加の取組み(ワークショップ等)